

ギリシャとユーロが揺れている。前政権の下で財政赤字を過少申告していたことが発覚、09年の財政赤字はGDP（国内総生産）比3・7%から12・7%というユーロ圏最悪の水準に修正された。累積赤字の債務・GDP比も110%を超えた。ユーロ通貨同盟の基礎「安定・成長協定」は、財政赤字を3%以下、債務・GDP比を60%以下

## ギリシャとユーロ

東京大教授 伊藤 隆敏



（ギリシャ国債の取引価格 は下落）

とするよう定めているがこれを大きく上回る。マーケットはギリシャの財政問題を重くみて、ギリシャ国債のドイツ国債に対する利回り差は4%に拡大

した。同様の財政赤字問題を抱えるユーロ圏のイタリア、アイルランド、スペイン、ポルトガルの国債利回りも急上昇。これらの国の英語表示の頭文字をとり、PIIGS

という不名誉なニックネームがつけられた。財政不安はユーロ圏を引き起こしている。

財政不安、通貨不安の解消には何が必要か。まず、ギリシャの財政赤字を圧縮する歳出削減、増税、中期的な財政再建プログラムへの提示は必須である。そのうえでギリシャとEU（欧州連合）にできる選択肢は三つ。

れている。

第二はIMF（国際通貨基金）がギリシャに融資し、政策監視をする。

しかし、EUはメンバー国にIMFが政策監視をすることも受け入れられない。ECB（欧州中央銀行）の金融政策に注文をつけられるのも嫌だ。第三は独仏によるギリシャへの融資という「救済」だが、財政粉飾という問題国の救済は理由が見つからない。規律を重視するドイツが大反対。出口は見えない。ギリシャの行方はユーロ圏の試練だ。